

キャンプ砂防2014を実施しました

「キャンプ砂防」は、砂防を専攻する大学生等に国土交通省の砂防関係機関における就業体験や中山間地域での生活体験等の場を提供することで、砂防に対する学習意欲の喚起と高い職業意識を育成するとともに、砂防に対する理解を深め、土砂災害防止に関する意識を向上させることを目的として、1996年（平成8年）より実施しています。

※「キャンプ砂防」という名称は、国連難民高等弁務官を勤められた緒方貞子さんが始められた「キャンプ・サダコ」（世界各国の若者が難民援助の現場を実際に体験する研修プログラム）にちなんで名付けられました。砂防について現場で実体験を行うものであり、キャンプをするというものではありません。

神通川水系砂防事務所では、3名の研修生を迎え、奥飛騨地域の建設業、農業、林業体験など、地域の方々との交流やさまざまな体験学習を8月18日(月)～22日(金)にわたり実施しました。

学習の様子



雨量計点検



建設業体験（コンクリートの脆弱層除去）



農業体験（トマト収穫）



土砂災害を学ぶ（ほらだに洞谷にて）



林業体験（間伐見学）



焼岳山体調査

～研修生の感想～

- ・中山間地域の人々の暮らしと密接に関わった内容で、この地域の特色や問題といったものを身近に感じ取ることができた。
- ・安心・安全のために多くの砂防堰堤が設置され人々の命・住居を守っていることを考えると、防災を行うことの重要性を理解することができた。
- ・現場で働く人達の仕事に対する思いというのを直に体験することができ非常に貴重な経験となった。